

令和3年度 四国中央市スポーツ推進審議会定例会 会議録

1. 会議名 四国中央市スポーツ推進審議会
2. 日時 令和3年11月18日(木) 19:00~20:15
3. 場所 四国中央市役所市民交流棟2階 会議室
4. 出席者 委員:10名
教育委員会:2名
事務局:3名
5. 傍聴者 なし

協議事項等

1. 会議次第

- (1) 開会の辞
- (2) 教育長挨拶
- (3) 会長挨拶
- (4) 議案審議
第1号議案 四国中央市スポーツ推進計画(案)について
- (5) その他
- (6) 閉会の辞

2. 会議概要

- (第1号議案 四国中央市スポーツ推進計画(案)について)
事務局より説明

- (委員) 計画の評価として令和8年度の目標値を定めているが、市の目標が国や県よりも低くなっているのはなぜか。
- (事務局) 令和2年度に実施した「スポーツ活動に関するアンケート調査」による市の数値が低めで国や県との差が大きかったため、国・県の目標に一足飛びにというのではなく、段階を踏んでいくという形にさせていただきました。
- (委員) 理由はそれだけですか。国や県と同じ目標にしておいて、達成できなかった場合は、その部分を見直していけばよいので、国や県の目標値と同じにすべきではないか。国や県の目標値から下げる理由が見当たらない。
- (事務局) 国や県の目標値より低めに設定している市町もあり、%以上ということですのでそれほど低くはならないようにしている。
- (事務局) 昨年度、アンケート調査を実施して、ようやく実態をつかむことができたとい

うことでありまして、そのために、目標値としては現状を踏まえたものとなっておりますが、必要に応じて中間見直しを実施することとしているため、その点も含めてご理解いただきたい。

(委員) 全体を読んで質問を受ける形式も良いが、部門ごとで分けて個別具体的な説明をしても良かったかと思う。数値目標については、高齢化率や人口比率などを考慮して設定するのが良いと思う。スポーツを推進する、なり手の育成について協議をしてはいかがでしょうか。

(事務局) 例えば、こどものスポーツ推進にあたって外部指導者との連携や学校部活動とを含めて考えていけたらと思いますが、委員のお考えはいかがでしょうか。

(委員) 一足飛びに改善していくというのは難しい。経験のない種目の部活動の顧問をする先生も多く、厳しい状況にあるのではないかと思います。

(議長) アンケート調査によって抽出された課題を整理することがまずもって重要だと思う。アンケート調査結果から課題をみつけて、その対策を検討することに主眼を置いた事務局案ということでよろしいですか。

(事務局) はい。

(委員) アンケート調査結果を見ると、指導者に関する項目等に偏りが見られるので、次回はその辺を考慮して調査を実施されてはいかがかと思う。スポーツする人のお世話をする人や設備もテーマに入れていただければと思う。

(委員) 指導者協議会の会員も 34 名いるが、スポーツ指導者も高齢化が課題となっており、数自体も減少している。指導するにも、子ども達が少なくチームが成り立たないということもあり、スポーツ教室の開催など、指導者育成も図っていかれたらと考えている。

(委員) 本年度の新入団員は 654 名となっている。親御さんの意識の変化もある。休日にお手伝いは難しいという人もいる。軟式野球のチーム数も減少している。新一年生が入ってこないため、次年度もチーム数が減少の見込みである。公民館やチームの代表者や教育委員会と連携していい案を模索していきたい。

(委員) 「スポーツをしましょう」と子どもに言うと「勉強が忙しい」と言われる。人間性を養うのも大事な勉強であると思う。

(委員) 宿題自体の量はそんなに変わってないと思われるが、テレビやゲームの時間が増えていて、スポーツ少年団に入らない子どもが増えていると思う。

(委員) 自分が子どもの頃は野球がすごかった。高齢者は多いけれど、運動やスポーツをする人数は減ってきている。昨日の市老連のペタンク大会があった。勝っても負けても楽しめて良かった。

(事務局) 競技も多様化している。スポーツを支える存在について、国体の際も老人クラブや壮年会に尽力していただいたので、老人クラブの方々にも支え手として活動していただけたらと思う。

- (委 員) 育成が重要な競技スポーツとニュースポーツのような楽しめるスポーツと、分けてスポーツ推進について考えるのが良いのではないか。
- (委 員) 高校生が老人達に社交ダンスを教えているという話を聞いたことがある。社交ダンスなど年齢を重ねても楽しめることをやっていきたい。
- (委 員) 募集チラシを置くというかたちで公民館もスポーツ少年団の活動をサポートしているが、来館者は70歳以上の方が中心となる。子どもをもつ親御さんが公民館に来るようにしていきたい。他地区と合同でないとチームが組めない状況であるので、何とかしてスポーツ少年団に入ってもらえるような施策を考えていきたい。夏休みに将棋教室を公民館で開催したが、何らかの働きかけは必要と思われる。上分地区の高齢化は39.4%であり、お年寄りを対象とした軽スポーツ教室をしようとしたが、コロナで出来なかった。教室を開催する際の道具やその道具について説明できる人が増えると良い。
- (委 員) 松山に県の組織があり、道具を貸してくれたり説明してくれたりする人がいる。先日、スポーツアドベンチャーというイベントが実施されたが、いろんな種目をゲーム感覚でやると子どもは大変喜ぶ。用具も安いものができつつあるし、市もそのあたりに予算をつけていただけるとありがたいのですが。
- (事務局) 努力いたします。
- (事務局) 働き盛りの世代におけるスポーツ振興についてはいかがでしょうか。
- (委 員) 働き盛りの世代におけるスポーツ振興は社員にとっても健康につながる。車で通勤する人が多く、アンケート調査にもありましたように、歩いて健康にというニーズはあると思われる。スポーツ推進について、楽しむスポーツと競技スポーツに分けることに賛成です。間近でレベルの高いスポーツを見て憧れて、というのも競技スポーツの振興につながると思いますし、そのあたりを考慮しながら、アンケート調査の項目も多いので、優先順位をつけながら事務局がまとめてくれたらと思います。
- (委 員) 一般の人が総合型地域スポーツクラブを経て、国体選手などが頂点にいると思う。楽しむスポーツと競技スポーツを分けるとスポーツ推進がままならないのではないか。スポーツ指導者になって長いが、総合型地域スポーツクラブの育成は全く進んでいない。
- (委 員) 別にするというわけではなく、取組として分けて書いた方が分かりやすいのではないかと考えている。
- (委 員) 最後は総合型地域スポーツクラブの育成に行きつくと思うが、スポーツ協会や市はそのあたりは分かっているのでしょうか。
- (事務局) 県スポーツ財団が次年度に総合型地域スポーツクラブの組織化を行うなど、力を入れている分野であるが、現状苦慮している部分であるので、ご指導いただきながら課題を整理していきたい。

- (事務局) 指導者の継続的な育成が課題であると考えている。
- (委員) ですから、総合型地域スポーツクラブの育成が必要である。
- (事務局) 今回このように議論をいただいて、予算をとって支援をしていくという足がかりの計画にできればと思います。
- (委員) 今までこのような計画はなかったので、これからみんなでやっていくことが大切だと思う。
- (議長) 活発なご意見をいただいたので、これをベースにしてアンケートをとったりしながら、アンケート調査等により出された問題を吸い上げて検討していくという形ですすめていくということが重要かと思います。

その後、採決の結果、原案のとおり計画策定をすすめていくことが承認される。

その他 全般について

- (事務局) 令和3年度スポーツ行事について（報告）

その他全般も上記以外は特になく、閉会する